

令和2年度 第2回帯広市社会教育委員会議 議事要旨

1 日 時 令和2年12月24日(木) 書面開催

2 委 員 朝倉 洋一、中山 江里子、福田 茂、阿部 好恵、平田 昌弘、矢野 充、
鳴海 亮、松田 信幸、池田 健一、出村 行敬、岸田 智子、川岸 仁、
野原 一行、久保田 博己、石山 隆幸、重田 裕亮、江藤 敏雄、
廣瀬 有紀、金谷 洋子、村上 博子

(以上20名、敬称略)

3 事務局 生涯学習部長 井上 猛、生涯学習文化課長 石津 邦久、生涯学習文化課
生涯学習係長 大橋 由幾、生涯学習文化課生涯学習係主任補 東 悠風太、
生涯学習文化課生涯学習係係員 土田 百花

(以上5名)

4 会議次第

(1) 帯広市岩内自然の村の今後のあり方(中間報告)(案)について(報告)

5 議事要旨

(1) 帯広市岩内自然の村の今後のあり方(中間報告)(案)について(報告)

「岩内自然の村の今後のあり方(中間報告)」のまとめ方や記載内容などについて意見を伺った。意見については以下の通り。

○委員

- ・利用した経験から言うと、ハード面は押さえられているが、ソフト面にもう少し力を入れてほしい。例えば、団体使用時にどのような活動が可能なのか事前に調査したが、資料的なものが少なく苦労した。
- ・学校キャンプで豪雨に見舞われ、屋内で宿泊可能な「山の家」にお世話になったことがある。個人(家族)利用の場合はそこまでではないが、団体利用時には管理棟は必要な設備であると考えている。

○事務局回答

- ・現在は利用にあたっての体験活動のメニュー提供などは行っておらず、利用者の創意工夫によって施設を利用していただいている。意見について指定管理者と共有し、今後の運営の参考とさせていただく。

○委員

- ・「利用団体の意見を伺いながら」とあるので、ぜひ自団体の意見も早い段階で聞いていただきたい。
- ・現代的な設備が完備されているキャンプ場も必要かもしれないが、野趣あふれる場所でのキャンプも大事である。
- ・利用者増加対策として、イベントの検討や対策チームの立ち上げはどうか。

○事務局回答

- ・内容をとりまとめた2月頃から利用団体の意見を伺う予定である。
- ・いただいた意見について、指定管理者と共有し、参考とさせていただく。

以上